

平成30年度第4回 感染症発生動向調査部会
議事要旨

1 日 時 平成30年7月18日（水） 14：00～

2 場 所 岐阜大学医学部本館 1階 入札室（岐阜市柳戸1-1）

3 出席者

委 員：馬場 尚志（岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター 副センター長）
大西 秀典（岐阜大学医学部附属病院 新生児集中治療部 准教授）
澤田 明（岐阜大学医学部附属病院 眼科 講師）
加藤 達雄（国立病院機構長良医療センター 呼吸器内科統括診療部長）
石山 俊次（石山泌尿器科皮膚科）
オブザーバー：川部 京子（岐阜市保健所地域保健課 感染症対策係長）
事務局：上津 ひろな（保健医療課 主任技師）
田村 直彦（保健環境研究所 疫学情報部長）
酢谷 奈津（保健環境研究所 専門研究員）

4 議 題 （進行：加藤委員）

- （1）2018年第23週～第26週、6月の感染症発生動向について
- （2）その他情報提供

5 議事要旨

【2018年第23週～第26週、6月の感染症発生動向について】

- ・事務局からの報告と委員のコメントについては資料のとおり。
（委員からのその他のコメント等）
- ・特になし。

【その他情報提供】

- ・事務局（保健環境研究所）から梅毒の届出状況について情報提供
・資料に基づき、全国および岐阜県の届出状況について説明。
（委員からのコメント等）

- ・梅毒による病変は多様であるため、性感染症を専門としない診療科の医師が梅毒患者の診療を行う可能性もあることから、日本性感染症学会梅毒委員会により臨床医向けの「梅毒診療ガイド」が作成された。診療ガイドには以下のような内容が含まれており、学会ホームページからダウンロード可能。
- ・梅毒は感染から発症までの期間が症例によって様々であること、第1期でも神経症状が現れることがあること、第1期と第2期の症状が同時に現れることがあることなど、臨床的なバリ

エーションが大きいことに留意が必要である。

- ・ 妊婦の胎内感染を防ぐために、初期健診で全例梅毒抗体検査を実施して結果を早く伝えること、健診未受診妊婦には直ちに抗体検査を実施すること、妊娠後期にも追加スクリーニングを検討することが必要である。
- ・ 事務局（保健医療課）から下記通知等について情報提供
 - ・ 麻しんが強く疑われる場合の検査対応の変更について
 - ・ 災害時の感染症対策に関する資料について